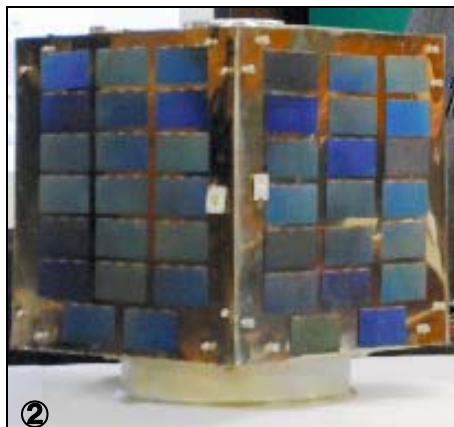


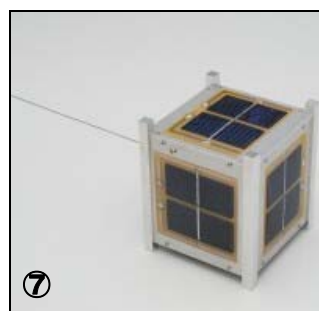
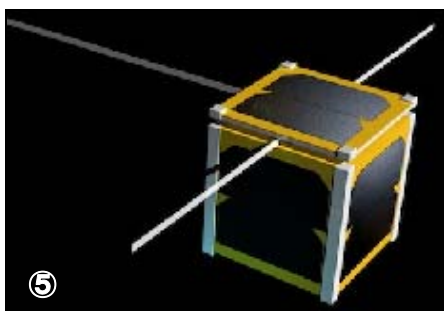
小さなカラダに大きな夢をのせて。 個性的な相乗り小型衛星が宇宙へ!



①【香川大学 | 「STARS II」】 重力傾斜を利用したテザー(ひも)の伸展や、テザー張力を利用したテザー宇宙ロボットの制御を行う。

②【信州大学 | 可視光通信実験衛星】 衛星-地上間の双方向可視光通信実験を行う。

③【帝京大学 | 微生物観察衛星】 微小重力環境と宇宙放射線が粘菌に与える影響を調べる。



④【鹿児島大学 | KSAT2】 大気水蒸気の観測や宇宙からの日本応援メッセージの送信など、7つのミッションを行う。

⑤【多摩美術大学 | 芸術衛星 INVADER】 衛星からのデータを使って、サウンドアートやインタラクティブなメディアアートを創作。

⑥【大阪府立大学 | OPUSAT】 超小型衛星の欠点のひとつである、電力不足の改善を目的とした先進電源系の実証等を行う。

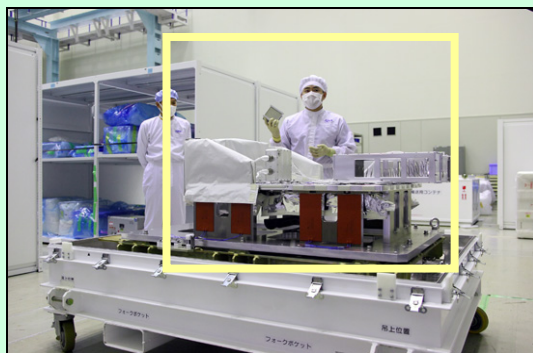
⑦【筑波大学 | ITF-1】 誰もが簡単に衛星の信号を受信し、その体験を受信者同士で共有できる仕組みを構築する。

2011年12月14日、宇宙航空研究開発機構(JAXA)は、2013年度打上げ予定のGPM衛星の打上げに相乗りして搭載される30~50cm級の小型衛星3機(上イラスト)と10cm級のCubesat4機(下イラスト)を発表しました。これらの衛星は、打上げ後に愛称が発表されることが慣例です。

民間企業、大学等が製作する小型衛星の打上げ機会を提供するために、2009年からH-II Aロケットに相乗りする小型衛星の公募が通年で実施されています。これまでに10機の打上げ相乗りが実現しています。

「きぼう」日本実験棟からも小型衛星の放出ができるように…!

国際宇宙ステーションから超小型衛星を放出できる装置が、2012年に打上げ予定の宇宙ステーション補給機「こうのとり」3号機(HTV3)でISSへ運ばれる予定です。



公募で既に選ばれた3機の小型衛星をこの放出装置に取り付け、同年9月頃に「きぼう」のエアロック経由で船外に搬出した上で、ロボットアームで掴んで放出する予定です。

プレス公開された小型衛星放出機構と星出宇宙飛行士(2012年1月25日)



「相乗り小型衛星」の最新情報はこちらから

<http://aerospacebiz.jaxa.jp/jp/guide/guide02.html>